

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」上浅田校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 14日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 14日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援は担当制ではないが、どの指導員が担当しても安定的な支援ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から情報共有や協力をしやすい関係性を作っている。 ・支援のアイデアとなる情報を事業所内のグループラインを利用して共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修に参加したり、情報収集を行い、支援の幅を広げられるようにする。
2	満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士5年以上、児童指導員5年以上の職員をはじめ、それぞれの強みを活かせるよう協力体制ができており、スキルの高いチームとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士や作業療法士の配置がないが、近隣校舎に協力を仰いで、定期的に巡回していただけるようにする。 ・保護者会など、保護者さん向けのイベントを行う。
3	きらりを楽しみに来てくれるお子さんが多い	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんのペースに合うよう課題の調整を行ったり、好きなものを支援に取り入れたりしている。 ・肯定的な言葉がけをすることを大事にしている。 ・夏季療育など長期休みの時の集団療育や、季節ごとのイベントを企画し、好評をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子さま一人ひとりに何が 필요한のかを職員全体で話し合い、共有して支援にあたる。 ・小集団を来年度は就学準備と通常の小集団とに分けて行う。 ・イベントの企画を余裕を持って行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋の広さ、音の反響が気になるなど、環境整備が不十分。	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件のため、大きな改変が難しい。響かないように吸音材を活用しているが、十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽運動を行う際、怪我や事故のないよう注意はしているが、種目ややり方を工夫して、より安全に配慮していく。
2	備品や物の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・児童専門校舎であるため物が多く、収納が少ないため、散らかりやすい。 ・片付けに時間を多く割くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に整理をする時間を設ける。
3	おむつ替えや、着替えのスペースがない	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸をリフォームしており、設備を拡充させるのに限界がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションで区切る、別室を利用していただくなどの対応をとる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ともサポート教室「きらり」上浅田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

47

回収数

29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	7	2	0	・大部屋で仕切りがなく3組活動している時があるので、他の子のやっていることが気になったり、大きな音がすると注意がそれてしまう。個別の活動の時に他の子が走り回ったり声が大きいと集中しにくい。活動によっては、個人毎パーテーションで仕切る等すると良いと思います。 ・体を動かすのには危険な空間では？と思っています。	・防音シート、可動式のパーテーションの設置を致しました。 ・ご心配をおかけし、申し訳ありません。未就学のお子さまにとって、運動は発達の基本となり、また、集中力の持続し辛いお子さまにとっては気分転換にもなりますので、できる範囲で取り入れております。怪我のないように注意はしておりますが、何分限られたスペースになりますので、気になるようでしたらお申し出ください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	3	1	0	・活動には支障ないですが、教室の隅にヘルメットなどが無造作に置かれているので、整頓されているとより良い環境になると思います。	・ご指摘ありがとうございます。順次保管場所等の整理を行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	4	0	0	・子どもの様子や保護者の話を参考にして次週の活動内容に反映して下さるので有難いです。	・今後もご期待にそえるよう、努力していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	2	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	4	2	7		・ほとんどのご利用者様が平行通園をされているため、保育所、こども園、幼稚園などとの交流会は行っていません。ご要望があれば、企画致します。 ・参加人数にもよりますが、イベント時に兄弟児さんの参加を受け付けています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1	0	0			

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	1	10		・ペアレントトレーニングはプログラムとしてはありませんが、支援を見ていただき、その都度相談に乗ったり、必要があれば外部機関と連携をしていきます。 ・事業所内に保護者様にご参加いただける研修会などのチラシを掲示しています。また、今後保護者会の開催を検討しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	2	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	2	9		・保護者会につきましては、今後企画、開催していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	1	3		・契約時にご説明させていただいています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	2	1	0	・仕方ないことではあるが、本人がいるところで情報伝達をするため、本人がショックを受けることがある	・フィードバックでは、お子さまのがんばりと、今後どのように支援していくかをお伝えするように留意しています。配慮が足りない部分があり、申し訳ありませんでした。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	3		・ブログ、インスタグラム、LINEの配信などを行っています。ぜひご覧ください。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	1	2	・個人情報の取り扱いは職員に指導してほしい。	・ご指摘があったことを職員に周知致しました。ご不安を与えることのないよう職員一同留意してまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	1	2		・契約時にご説明させていただいております。マニュアル類は、一冊にまとめ、支援室入口付近に設置しておりますので、いつでもご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	0	5		・毎月防災訓練を行っています。報告書は事業所内に掲示しておりますのでご覧ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	4	・避難ルートをそういえばよくわかっていないので、地図に線を引いておいていただけるとそこを歩いてみたりできるのかなと思います。住んでいる地域が違くと、避難指定場所はここと言われてもどう行けばよいのやらで。	・契約時にお渡ししている様式に記載されている避難指定場所の地図には紙面の都合上、避難ルートの記載が難しい状態です。校舎内に避難ルートの書かれた地図を掲示しております。ご希望の方には、コピーをお渡しいたしますので、お申し出ください。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	0	3		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1	0	1		

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	25	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます ・支援を受ける子供だけでなく、同伴する兄弟のことも考えてくださり、とても感謝しています。ありがとうございます。 ・スタッフ同士の情報共有が十分にされているようで、どの先生が担当されても、子供の特性に合わせた支援をいただけていると感じます。 ・どうしても子供にかけていただく言葉が絶妙…な方がいらして、どういう表現をその方にしていただけたらいいのかなと思いつつ、そういう人と触れ合うのも経験だからと様子見していたりします。ほめているんだけどなんか違う。ほめてもらっている気がしない…その日の予定を進めることを優先して子供のやりたいを優先していただけないとか…うまく言い表せなくてすみません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。私どもも、励みになります。今後もご期待に応えられるように努力してまいります。 ・職員の対応につきましては、いただいたご意見を周知いたしました。ご不安を与えてしまい、申し訳ありませんでした。ご利用のお子さま、保護者さまに信頼していただけるよう、より一層努力して参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」上浅田校		公表日 2025年 2月 15日
------	--------------------	--	------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	規定はクリアしている。	3人以上入ると音が反響したり、視覚的に情報が多くなったりして支援がづらい。パーティションや吸音材を試しているが改善がまだ必要だと思われる。運動が十分にできない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	事業所運営としては適切な人員の確保はできている。	もう1人いると教材作成などに十分な手をまわすことができ、支援をもっと手厚くできると思われる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	パーティションで区切る等の工夫はしている。	バリアフリー化は十分できていない。出入口の段差や駐車場の凹凸が気になる。建物の構造上、夏場に玄関ホールの気温が上がりすぎる。教材などを置ける部屋スペースがもっとあるともっと質の良い支援ができる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	おむつ替えや着替えの場所はパーティションで区切る、別室を使うなどの工夫はしている。毎日清掃して衛生面には気を付けている。	もう少し体を動かして遊べるスペース、部屋があるとよい。利用者さん始め、年齢が低いお子さんのオムツ替えや着替え等の場所が設けられていない。1年に1回でもいいので大掃除できる日があるとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	必要などときには、目隠しやパーティションを使って逃げられる場所を作ったり、一時的に面談室に移動するなどの配慮を行っている。	部屋が空いていない場合もあり、十分とは言えない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	職員間でのコミュニケーションが取れているので、改善したほうが良い点など意見を出し合って改善していくことができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎年冬に事業所評価アンケートを行っている。保護者からの質問や意見が出た際には職員間で共有し、改善等行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	普段から職員間はコミュニケーションが取れている。職員同士が常に気兼ねなく話し合える環境になっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		外部の第3者委員会は検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月の定例研修、社内外の研修に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援のために毎回保護者へのフィードバックを行っている。そこでプログラムなども説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	職員間で一人一人に必要な課題を考え、プログラムや今後の課題に反映させることができ、それを職員間で共有ができています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管も含めて職員間でお話しができています。児発管からも情報の共有ができるように話し合いの場をタイミングを見て作ってくれている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	ファイルの一番前に挟んであり、すぐに見返せるため、見返してプログラムの見直しなどができている。それぞれ得意な分野がある職員がアイデアを発信し、職員の中で共有することができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメント、支援記録などを確認し、状況把握に努めている。園での様子や家庭で困っていることなども保護者に聞き取りをしながら支援を行っている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	5領域に対応した個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	指導員間で相談、共有しながらプログラムの作成、変更を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	よくできている課題はどのように変更するのか、相談や報告をしてからプログラムの変更を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団支援も必要だと考えられるお子さんにはお声掛けしたり、お休みの際に行うイベントや預かり療育に来ていただけるようお話しをしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	プログラムを作る際に、分からない点や変更したほうが良い点など話し合い、一人一人に必要なプログラムを作ることができている。 日々の会話や、社内チャットを利用して情報共有に努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	できた課題、全然できなかった課題などを共有し、次回の支援ではどのようにしていくかを職員で話し合いができている 日々の会話や、社内チャットを利用して情報共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録を取ることは徹底されている。 次回の支援で行ってほしいことなど、次の担当の指導員に分かるように明記している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、支援の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者会議に参加し、情報を共有し、より良い支援につなげていけるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	必要な場合や保護者からの要望があれば、園見学などを行っている。園の方で時間が取れば情報共有を行い、きらりでの支援内容を検討し直している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学の際希望者には、就学先の学校と連絡を取り合い、サポートかけ橋シートの作成、伝達等密に行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	児発連絡会に参加している。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	イベント時などに兄弟児の参加も受け付けている。 園訪問を行い、事業所との意見交換、改善点を共有できている。また、要望に応じて保護者の相談に応じている。	幼稚園、保育園に通園し、平行通園している子がほとんどなので、きらりで行う必要はないかと思われる。希望があれば企画していく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の支援終了後にフィードバックを行い、その際に情報共有を行っている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていないが、家族の対応力の向上を図る観点から、支援の見学、相談などを受け付け、情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		今年度はまだ保護者会を行えていないので、保護者会の企画をしていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログ、LINE、インスタグラムなどのSNSを利用し、発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		行事等の招待は特に行っていないが、近隣と挨拶などは交わしている。 地域住民から教具の提供をいただいているのでイベントに招待するなどの返礼を行いたいと考えているが予算的な算段が立っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルは、誰でも手に取れる場所に設置されている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	各委員会を中心に、防災訓練や感染症対策の講習などを定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	保護者に確認の上、職員間で情報共有し、安全な場(教材、イベントのおやつ)を提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	契約時に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	大きな事故につながらないよう、些細な事故にも注意し、ヒヤリハットを作成し、情報を職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		